



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年8月14日
東

上場会社名 株式会社ジィ・シィ企画 上場取引所
コード番号 4073 URL <https://www.gck.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木洋介
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長経営管理本部長 (氏名) 丸山英幸 (TEL) 043-464-3348
定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年9月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の業績(2024年7月1日～2025年6月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	1,844	6.0	△80	—	△115	—	△146	—
2024年6月期	1,740	12.3	58	—	44	—	72	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	△58.39	—	△42.7	△6.1	△4.3
2024年6月期	29.07	28.53	19.2	2.7	3.4

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 一百万円 2024年6月期 一百万円

(注) 2025年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	2,004	270	13.5	107.51
2024年6月期	1,764	415	23.5	165.82

(参考) 自己資本 2025年6月期 270百万円 2024年6月期 415百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	△229	△234	505	742
2024年6月期	63	△190	101	699

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年6月期の業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,403	30.3	92	—	55	—	54	—	21.72

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期	2,508,160 株	2024年6月期	2,506,160 株
② 期末自己株式数	2025年6月期	717 株	2024年6月期	717 株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	2,505,970 株	2024年6月期	2,497,779 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

なお、「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましては、2025年9月に開示予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 製造原価明細書	8
(4) 株主資本等変動計算書	9
(5) キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、インバウンド需要の継続や賃上げによる雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調となりました。一方、米国の政策動向や地政学リスクの高まり等の海外情勢不安等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス産業においては、少子高齢化・生産年齢人口減少の影響等を受け、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みが進められており、あらゆる産業において、業務効率化・競争力強化を図るためのIT投資意欲は引き続き拡大していくことが見込まれております。

経済産業省の発表（2025年3月31日）によれば、2024年のキャッシュレス決済比率は、42.8%と政府目標である4割を達成しました。将来的にはキャッシュレス決済比率80%を目指し、必要な環境整備が進められるものとされています。なかでも、当社の主要な事業領域であるクレジットカードによる決済額は、他の決済手段に比べて依然として高い比率を占めております。

このような環境の中、当社はスーパーマーケット・ディスカウントストア等、小売業の新規・既存顧客を中心に、マルチ決済システムの導入やリプレース、決済端末の販売、新たな決済手段やサービス開始の提案等を引き続き進めております。また、マルチ決済端末のサブスクリプションサービス「サクラ」の提供を進め、マーケットターゲットの拡大を図るとともに、安定した収益確保に取り組んでおります。

当社は、2024年2月に株式会社トランザクション・メディア・ネットワークス（以下、TMN社といいます）と資本業務提携契約を締結し、2025年3月にはその深化を図り、TMN社は当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となりました。決済事業領域におけるTMN社と当社のサービス・機能を組み合わせ、顧客への提案力を強化することに取り組み、事業の拡大を図っております。

以上の結果、当事業年度における売上高は1,844,329千円（前年同期比6.0%増）、営業損失は80,040千円（前年同期は営業利益58,558千円）、経常損失は115,610千円（前年同期は経常利益44,702千円）、当期純損失は146,336千円（前年同期は当期純利益72,602千円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

当社の事業セグメントは、「ペイメントインテグレーション事業」、「ペイメントサービス事業」、「その他事業」の3つに区分しておりましたが、2024年8月にNUCADOCO事業を廃止したことにより「その他事業」セグメントを廃止し、当事業年度より「ペイメントインテグレーション事業」、「ペイメントサービス事業」の2セグメントに変更しております。ヘルスケアアプリの設計・開発・販売・サービスの提供（NUCADOCO事業）は廃止いたしました。事業化を検討している新規ビジネス等につきましては、継続して取り組んでまいります。

なお、前年同期の数値については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

（セグメント売上高）：当事業年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

セグメントの名称	売上高（千円）	構成比（%）	前年同期増減率（%）
ペイメントインテグレーション事業	721,140	39.1	△6.9
ペイメントサービス事業	1,123,189	60.9	16.3
合 計	1,844,329	100.0	6.0

（ペイメントインテグレーション事業）

ペイメントインテグレーション事業は、端末販売は堅調に推移したものの、リプレース大型案件の影響があった前年同期に比べ、受託開発売上が減少しました。

棚卸資産（商品）の評価を行い、商品評価損（売上原価）を29,765千円計上したことに加え、積極的な研究開発を行ったため、当事業年度はセグメント損失を計上することとなりました。

以上の結果、売上高は721,140千円（前年同期比6.9%減）、セグメント損失（営業損失）は60,138千円（前年同期は82,680千円のセグメント利益）となりました。

（ペイメントサービス事業）

ペイメントサービス事業は、決済ASPサービス、保守運用サービスの提供等、ストック売上として計上されるもの

について、一部のサービス料金見直しを実施したことにより堅調に推移しました。

当事業年度より、ストック売上に加えてサブスク売上を計上しており、売上は増加しました。サブスクのうち、継続的なサービスの提供による分はストック売上として計上されますが、決済端末貸与分については、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）を適用し、リース取引開始日に売上高と売上原価を計上しております。

サブスク案件にかかる端末原価等の計上があったこと、また、利益率の高いASPユーザーよりも利益率の低い電子マネーユーザーが増加するなど、売上構成の変化により、セグメント利益については減少いたしました。

以上の結果、売上高は1,123,189千円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益（営業利益）は41,139千円（同27.0%減）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前事業年度末と比べて73,852千円増加し、1,590,436千円となりました。これは主に、現金及び預金45,998千円、売掛金及び契約資産が50,354千円、リース投資資産が111,897千円、仕掛品が1,947千円増加した一方で、商品が134,988千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて165,814千円増加し、414,090千円となりました。これは主に、有形固定資産が13,529千円、自社利用ソフトウェアの開発により無形固定資産が184,992千円増加した一方で、長期前払費用が3,591千円、繰延税金資産が29,313千円減少したことによるものであります。

この結果、当事業年度末における資産合計は、前事業年度末に比べ239,666千円増加し、2,004,527千円となりました。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて1,094千円減少し、1,112,702千円となりました。これは主に、買掛金が13,146千円、1年内返済予定の長期借入金が133,753千円、預り金が17,716千円が増加した一方で、未払金が1,863千円、未払費用が6,309千円、契約負債が126,871千円、未払消費税等が30,166千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて386,198千円増加し、621,810千円となりました。これは主に、長期借入金が386,198千円増加したことによるものであります。

この結果、当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ385,103千円増加し、1,734,512千円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前事業年度末に比べて145,436千円減少し、270,015千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ225千円、新株式申込証拠金が450千円増加した一方で、当期純損失の計上により利益剰余金が146,336千円減少したことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ42,392千円増加し、742,232千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は△229,160千円（前年同期は63,492千円）となりました。これは主に、税引前当期純損失の計上△115,610千円、減価償却費33,274千円、売上債権の増減額△50,354千円、リース投資資産の増減額△111,897千円、棚卸資産の増減額133,040千円、契約負債の増減額△126,871千円、法人税等の支払額又は還付額△1,448千円、そのほか、預り金の増減額、未払消費税等の増減額等によるものであります。

受託案件の大型化に伴い売上債権が増加傾向にあること、サブスクのうち決済端末部分については、リース投資資産として一時点で売上計上されるものの、債権回収が長期に渡ることから、当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなっているものと分析しております。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は△234,326千円（前年同期は△190,773千円）となりました。これは主に、サーバー等機器類の購入により、有形固定資産の取得による支出△19,570千円、自社利用ソフトウェアの開発を中心に無形固定資産の取得による支出△210,479千円、定期積金の預入による支出△3,606千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は505,851千円（前年同期は101,943千円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入650,000千円、長期借入金の返済による支出△130,048千円及び支払手数料の支出△15,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、個人消費やインバウンド需要等によって景気が上向くことが期待されるものの、国際情勢における地政学リスクの増大や物価上昇、急激な為替変動など、予断を許さない状況が続くものと考えております。一方で、IT投資意欲については、活発に推移するものと考えております。

このような状況のもと、当社は、キャッシュレス決済サービス取扱ペイメント及び取扱端末を拡充し、マーケットターゲット拡大を進めております。また、営業アライアンス先の拡充、顧客への提案力の強化を図り、継続的な売上となるストック売上の成長に力を注いでおります。2025年6月期はペイメントサービス事業でサブスク売上が多額となりましたが、2026年6月期ではペイメントサービス事業の売上高は1,091百万円（前年同期比2.8%減）を見込んでおります。

ペイメントインテグレーション事業は大型案件の引合い受注により、2026年6月期では売上高1,311百万円（前年同期比81.9%増）を見込んでおります。

売上拡大に努める一方、固定費を中心としたコスト低減には継続して取り組んでまいります。

以上より、2026年6月期の業績につきましては、売上高2,403百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益92百万円（前年同期は営業損失80百万円）、経常利益55百万円（前年同期は経常損失115百万円）、当期純利益54百万円（前年同期は当期純損失146百万円）を見込んでおります。

「決算補足説明資料」を本日公表いたしましたので、併せてご参照ください。「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましては、2025年9月に開示予定です。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,221	815,220
売掛金及び契約資産	323,539	373,893
リース投資資産	720	112,618
商品	380,497	245,508
仕掛品	1,822	3,769
前払費用	36,370	38,886
その他	4,413	540
流動資産合計	1,516,584	1,590,436
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,440	14,319
減価償却累計額	△12,608	△12,750
建物（純額）	832	1,569
車両運搬具	9,722	9,722
減価償却累計額	△9,722	△9,722
車両運搬具（純額）	—	—
工具、器具及び備品	289,114	305,144
減価償却累計額	△281,536	△284,772
工具、器具及び備品（純額）	7,578	20,371
リース資産	34,345	34,345
減価償却累計額	△34,345	△34,345
リース資産（純額）	—	—
有形固定資産合計	8,410	21,940
無形固定資産		
ソフトウェア	125,941	100,454
ソフトウェア仮勘定	64,087	274,566
無形固定資産合計	190,028	375,021
投資その他の資産		
出資金	160	160
敷金及び保証金	8,335	8,532
長期前払費用	12,002	8,410
繰延税金資産	29,313	—
その他	25	25
投資その他の資産合計	49,837	17,128
固定資産合計	248,276	414,090
資産合計	1,764,860	2,004,527

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,106	42,252
短期借入金	610,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	110,652	244,405
未払金	103,510	101,647
未払費用	29,085	22,775
未払法人税等	6,231	5,731
預り金	31,061	48,778
契約負債	139,920	13,048
その他	54,229	24,062
流動負債合計	1,113,797	1,112,702
固定負債		
長期借入金	235,612	621,810
固定負債合計	235,612	621,810
負債合計	1,349,409	1,734,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	433,234	433,459
新株式申込証拠金	—	450
資本剰余金		
資本準備金	316,834	317,059
資本剰余金合計	316,834	317,059
利益剰余金		
利益準備金	1,520	1,520
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△335,967	△482,303
利益剰余金合計	△334,447	△480,783
自己株式	△168	△168
株主資本合計	415,451	270,015
純資産合計	415,451	270,015
負債純資産合計	1,764,860	2,004,527

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,740,431	1,844,329
売上原価		
製品売上原価		
当期製品製造原価	914,757	1,009,566
製品売上原価	914,757	1,009,566
商品売上原価		
商品期首棚卸高	345,988	380,497
当期商品仕入高	205,626	116,937
合計	551,614	497,435
商品期末棚卸高	380,497	245,508
商品売上原価	171,117	251,926
売上原価合計	1,085,875	1,261,492
売上総利益	654,556	582,837
販売費及び一般管理費	595,997	662,877
営業利益又は営業損失(△)	58,558	△80,040
営業外収益		
販売手数料	5,910	433
保険解約返戻金	—	540
助成金収入	1,884	1,516
その他	269	812
営業外収益合計	8,064	3,303
営業外費用		
支払利息	6,097	12,326
支払手数料	10,526	14,978
訴訟関連費用	4,927	11,548
その他	369	19
営業外費用合計	21,920	38,872
経常利益又は経常損失(△)	44,702	△115,610
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	44,702	△115,610
法人税、住民税及び事業税	1,413	1,413
法人税等調整額	△29,313	29,313
法人税等合計	△27,900	30,726
当期純利益又は当期純損失(△)	72,602	△146,336

(3) 製造原価明細書

		前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)		当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	529,565	46.0	559,729	42.5
II 経費		621,323	54.0	757,143	57.5
当期総製造費用		1,150,889	100.0	1,316,872	100.0
仕掛品期首棚卸高		5,339		1,822	
合計		1,156,228		1,318,694	
仕掛品期末棚卸高	※2	1,822		3,769	
他勘定振替高		239,648		305,358	
当期製品製造原価		914,757		1,009,566	

(注) 原価計算の方法は、実際原価によるプロジェクト別の個別原価計算を採用しております。

※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
外注費(千円)	153,680	219,695
通信費(千円)	119,009	119,544
支払手数料(千円)	179,685	211,383
地代家賃(千円)	44,249	43,468
賃借料(千円)	38,774	38,920
減価償却費(千円)	3,927	30,490

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
ソフトウェア(千円)	117,239	—
ソフトウェア仮勘定(千円)	64,087	210,479
販売費及び一般管理費(千円)		
(研究開発費)	19,794	66,643
(その他)	38,527	28,235
計(千円)	239,648	305,358

(4) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本									純資産合計
	資本金	新株式申込 証拠金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
			資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	431,949	—	315,549	315,549	1,520	△408,570	△407,050	△168	340,279	340,279
当期変動額										
新株の発行	1,285		1,285	1,285					2,570	2,570
新株式申込証拠金の 払込									—	—
当期純利益						72,602	72,602		72,602	72,602
当期変動額合計	1,285	—	1,285	1,285	—	72,602	72,602	—	75,172	75,172
当期末残高	433,234	—	316,834	316,834	1,520	△335,967	△334,447	△168	415,451	415,451

当事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本									純資産合計
	資本金	新株式申込 証拠金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
			資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計			
						繰越利益 剰余金				
当期首残高	433, 234	－	316, 834	316, 834	1, 520	△335, 967	△334, 447	△168	415, 451	415, 451
当期変動額										
新株の発行	225		225	225					450	450
新株式申込証拠金の 払込		450							450	450
当期純損失（△）						△146, 336	△146, 336		△146, 336	△146, 336
当期変動額合計	225	450	225	225	－	△146, 336	△146, 336	－	△145, 436	△145, 436
当期末残高	433, 459	450	317, 059	317, 059	1, 520	△482, 303	△480, 783	△168	270, 015	270, 015

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	44,702	△115,610
減価償却費	5,611	33,274
受取利息及び受取配当金	△7	△246
支払利息	6,097	12,326
支払手数料	10,526	14,978
助成金及び保険金収入	△1,884	△2,056
為替差損益 (△は益)	26	△27
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,225	△50,354
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△111,897
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△31,897	133,040
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,817	13,146
契約負債の増減額 (△は減少)	△24,714	△126,871
その他	76,240	△17,816
小計	69,292	△218,114
利息及び配当金の受取額	7	246
利息の支払額	△6,278	△11,900
助成金及び保険金の受取額	1,884	2,056
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,413	△1,448
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,492	△229,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の預入による支出	△3,601	△3,606
有形固定資産の取得による支出	△14,533	△19,570
無形固定資産の取得による支出	△191,520	△210,479
敷金及び保証金の差入による支出	—	△670
敷金及び保証金の回収による収入	18,881	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,773	△234,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	193,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△80,772	△130,048
支払手数料の支出	△12,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△854	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,570	450
新株式申込証拠金の払込による収入	—	450
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,943	505,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,365	42,392
現金及び現金同等物の期首残高	725,205	699,840
現金及び現金同等物の期末残高	699,840	742,232

(6) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主たる事業内容別に分類し、「ペイメントインテグレーション事業」、「ペイメントサービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主要な事業内容
ペイメントインテグレーション事業 (フロービジネス)	・決済システムの設計・開発・導入・販売 ・決済端末アプリケーションの設計・開発・導入・販売 ・決済端末の販売 ・システム機器の販売、ソフトウェアやシステムインフラ基盤に関する設計・開発・導入・販売
ペイメントサービス事業 (ストックビジネス)	・決済ASPサービス（クラウド型）の提供 ・保守運用サービスの提供 ・決済端末のサブスク型販売 ・決済代行サービスの提供 ・ソフトウェアの保守、ハードウェアの保守、BPOサービスの提供

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年8月にNUCADOOCO事業を廃止したことに伴い、中間会計期間より「その他事業」セグメントを廃止し、「ペイメントインテグレーション事業」及び「ペイメントサービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前事業年度のセグメント情報につきましては、変更後の区分により作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益又は損失は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前事業年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ペイメントイン テグレーション事業	ペイメントサ ービス事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサ ービス	406,671	—	406,671	—	406,671
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	368,275	965,484	1,333,760	—	1,333,760
顧客との契約から生じる収益	774,946	965,484	1,740,431	—	1,740,431
その他の収益(注) 3	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	774,946	965,484	1,740,431	—	1,740,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	774,946	965,484	1,740,431	—	1,740,431
セグメント利益	82,680	56,355	139,036	△80,477	58,558
セグメント資産	382,319	200,223	582,543	1,182,317	1,764,860
その他の項目					
減価償却費	831	4,667	5,498	112	5,611
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	309,309	309,309	11,980	321,290

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産等の増加額であります。
2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等であり
ます。

当事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ペイメントイン テグレーション事業	ペイメントサ ービス事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサ ービス	357,290	—	357,290	—	357,290
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	363,849	988,100	1,351,950	—	1,351,950
顧客との契約から生じる収益	721,140	988,100	1,709,240	—	1,709,240
その他の収益(注) 3	—	135,089	135,089	—	135,089
外部顧客への売上高	721,140	1,123,189	1,844,329	—	1,844,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	721,140	1,123,189	1,844,329	—	1,844,329
セグメント利益又は損失(△)	△60,138	41,139	△18,998	△61,042	△80,040
セグメント資産	255,136	501,490	756,627	1,247,900	2,004,527
その他の項目					
減価償却費	3,896	29,300	33,197	77	33,274
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	8,219	220,399	228,619	3,178	231,797

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、全社資産等の増加額であります。
2. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等であり
ます。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	165円82銭	107円51銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	29円07銭	△58円39銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	28円53銭	—

(注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	72,602	△146,336
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	72,602	△146,336
普通株式の期中平均株式数(株)	2,497,779	2,505,970
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	47,400	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	415,451	270,015
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	450
(うち新株式申込証拠金(千円))	(—)	(450)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	415,451	269,565
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	2,505,443	2,507,443

(重要な後発事象)

該当事項はありません。